

マルチコントロール オーディオマスター

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



MDLP

WX-5700MDX



警告

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

この取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」の注意事項をよくお読みください。

道路交通法に従って安全運転する

運転者は道路交通法に従う義務があります。前方注意をおこたなど、安全運転に反する行為は違法であり、事故やけがの原因となることがあります。

- 運転者は走行中に操作をしない。
- 車外の音が聞こえる程度の音量で聞く。

定期的に点検する

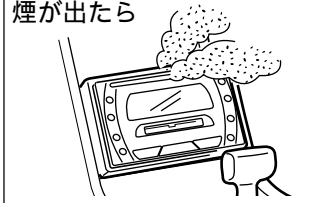
1年に1度は、電源コードに傷みがないか、振動により配線がはずれていないか、接続部分が車体と接触していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口へ修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、
煙が出たら



- ➡
- ① 安全な場所に車を止める
 - ② 電源を切る
 - ③ お買い上げ店またはソニーサービス窓口へ修理を依頼する

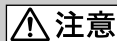
警告表示の意味

取扱説明書および「取り付けと接続」、製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電



指挟み

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止

目次

⚠ 警告・⚠ 注意	4
MDの取り扱い	6
CDの取り扱い	7
はじめに	9
まず、本機をリセットする	9
CD/MD・ラジオの聞きかた	10
各部のなまえ	12
カードリモコンの操作	14
時計を合わせる	16

CD・MD

CD/MDを聞く	17
繰り返し聞く(リピート再生)	21
曲順を変えて聞く (シャッフル再生)	22
ディスクに名前をつける(カスタム ファイル・ディスクメモ)	23
ディスクを名前で探す(リスト)	25

ラジオ

放送局を自動で登録する	26
放送局を手動で登録する	29
放送局に名前をつける (ステーションメモ)	30
放送局を名前で探す(リスト)	32

サウンドの設定

DSOを設定する	33
イコライザーを使う(EQ7)	34
音のバランスや音質を設定する (バス)(トレブル)(バランス) (フェーダー)(ATT)	36

その他の操作

音や表示などの設定を換える	37
スペクトラムアナライザーを選ぶ (SA)	39
LCDカラーを設定する	40
使用上のご注意	42
故障かな?	44
保証書とアフターサービス	48
主な仕様	48
索引	50



下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

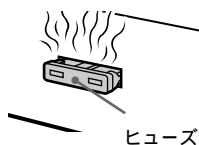
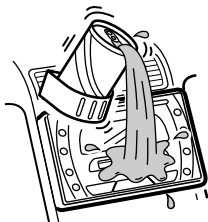
取り付けはお買い上げ店に依頼する
本機の実装には専門知識が必要です。

万一、ご自分で取り付けるときは、別冊の
「取り付けと接続」の説明に従って、正し
く取り付けてください。正しい取り付けを
しないと、火災や感電の原因となります。



内部に水や異物を落とさない

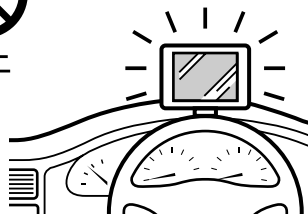
水や異物が入ると火災や感電の原因となり
ます。万一、水や異物が入ったときは、す
ぐに電源を切り、お買い上げ店またはソ
ニーサービス窓口にご相談ください。



規定容量のヒューズを使う

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズ
に記された規定容量のアンペア数のものを
お使いください。規定容量を越えるヒュー
ズを使うと、火災の原因となります。

前方の視界を妨げる場所に、ディス
プレイやモニターを取り付けない
前方の視界の妨げになると、事故やけがの
原因となります。また、取り付ける場所
が、助手席用エアバッグシステムの動作の
妨げにならないことを確認してください。



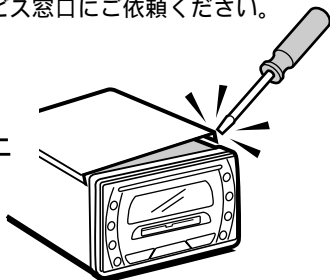
分解や改造をしない

火災や感電、事故の原因となります。

内部の点検や修理はお買い上げ店またはソ
ニーサービス窓口にご依頼ください。



分解禁止



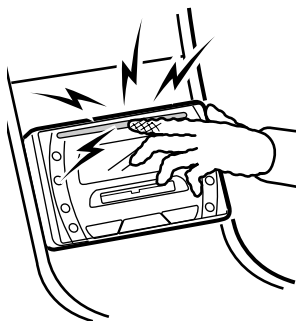


下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり**自動車に損害**を与えたりすることがあります。

ACCポジションのないお車のときはOFFボタンを2秒以上押し続けて時計表示を消してください。OFFボタンを短く押しただけでは時計表示が消えず、バッテリーあがりの原因となります。

ディスク挿入口に手を入れない

内部で手をはさまれ、けがの原因となることがあります。

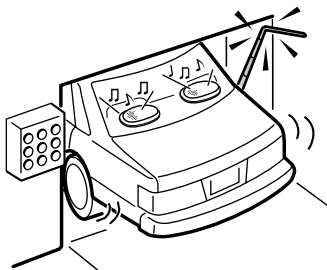


アンテナの高さより低い場所(駐車場や洗車機など)へ入るときはラジオを止める

ラジオの受信中はパワーアンテナが自動的に上がります。低い場所へ入るときは、必ずラジオ以外のソースに切り換えるか、OFFボタンを押してアンテナが下がったことを確認してください。



禁止



MDの取り扱い

MD自体はカートリッジに収納されていますので、ゴミや指紋を気にせず手軽に取り扱えるようになっています。ただし、カートリッジの汚れやそりなどが、誤動作の原因になることもあります。いつも美しい音で楽しめるように次のことにご注意ください。

良い音で聞くために
車内でカップホルダーなどをお使いになるときは、不意の振動などでジュースなどがこぼれて、MDソフトにかからないように充分ご注意ください。そのままMDを再生すると故障の原因になります。



MD内部に直接触れない
シャッターを手であけないでください。無理にあけるとこわれます。本機から取り出したときなどに万一シャッターが開いてしまった場合は、すぐに閉めてください。

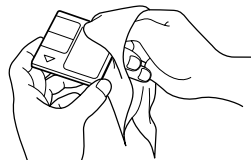


保存

直射日光が当たるところなど高温の場所、湿度の高いところには置かないでください。特に夏季、直射日光下で窓を開め切った車のシート、ダッシュボードの上などはかなりの高温になりますので、絶対に放置しないでください。



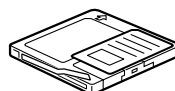
お手入れ
カートリッジ表面についたホコリやゴミなどを乾いた布でふき取ってください。



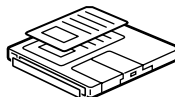
ラベルを貼るときのご注意

ラベルは、カートリッジに正しく貼られていないと、MDが本機から取り出せなくなることがあります。

- 指定の場所に貼ってください。



- 重ねて貼らないでください。



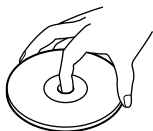
- ラベルがめくれたり、浮いているときは新しいラベルに貼り換えてください。



CDの取り扱い

ディスクの汚れや、ゴミ、キズ、そりなどが、音とびなど誤動作の原因となることがあります。いつまでも美しい音で楽しめるように、次のことにご注意ください。

取り扱いかた



記録面に触れないように持つ。



禁止



ディスクに紙などを貼らない。
キズをつけない。

こんなディスクは使わないでください
本体内部にディスクが貼り付いて故障の原因となったり、大切なディスクにもダメージを与えることがあります。

- 中古やレンタルCDでシールなどののりがはみ出したり、シールをはがしたあとにのりが付着しているもの
またラベル面に印刷されているインクにべたつきのあ
るもの
- レンタルCDでシールなどがめくれているもの
- お手持ちのディスクに飾り用のラベルやシールを貼ったもの



ラベルやシールを貼付したディスクは使わないでください。

次のような故障の原因となることがあります。

ラベルやシールが本機内ではがれ、ディスクが取り出せなくなります。

高温によってラベルやシールが収縮してディスクが湾曲してしまうため、信号の読み取りができなくなります。(再生できない、音飛びがするなど)

本機では円形ディスクのみお使いいただけます。円形以外の特殊な形状(星形やハート形、カード型など)をしたディスクを使用すると、本機の故障の原因となることがあります。

次のページへつづく

CDの取り扱い（つづき）

保存

ディスクケースまたはマガジンに入れ、直射日光が当たるところなど高温の場所、湿度の高いところを避けて保管してください。

特に夏季、直射日光下で閉めきった車のシート、ダッシュボードの上などはかなりの高温になりますので、絶対に放置しないでください。

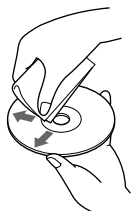


お手入れ

演奏する前に、演奏面についたホコリやゴミ、指紋などを市販のクリーニングクロスで矢印の方向へふきとってください。

ベンジン、アナログ式レコード盤用のクリーナーは使用しないでください。

静電気防止剤なども、逆にディスクを傷めることがありますので、使用しないでください。



CD-R/CD-RWについて

- 本機はお客様が編集された音楽用のCD-R（レコーダブル）およびCD-RW（リライタブル）ディスク*を再生することができます。ただし、録音に使用したCD-R/CD-RWレコーダーやCD-R/CD-RWディスクの状態によっては再生できない場合があります。
- ファイナライズ処理（通常のCDプレーヤーで再生できるようにする処理）をされていないCD-R/CD-RWディスクは再生できません。

* 音楽用CD-R/CD-RWディスクには下記のマークが印刷されています。



下記のマークが印刷されているディスクは、音楽用CD-R/CD-RWではありません。



はじめに

- 本機1台でCD/MD、ラジオの3メディアに対応。
- 長時間録音したMDを再生できるMDLP機能搭載。
 - MDLP録音したMDを再生するときは、ソニー製MDLP対応機器をお使いください。MDLP未対応のMD機器などで再生することはできません。
- 独自のバーチャル3D技術で音像を前方定位させるとともに、クリアな音質を実現するDSO(ダイナミック・サウンドステージ・オーガナイザー)機能搭載。
- 好みの音質に調整可能な7バンドイコライザー(EQ7)機能搭載。
- 運転感覚で操作できるワイヤレスロータリーコマンダー(別売り)に対応。

また、以下に記載した別売りの機器(ソニー製)も本機のボタンで操作できます。

- CDチェンジャー
- MDチェンジャー

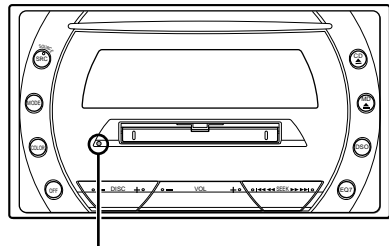
この取扱説明書では、本機の使いかたの他に、付属のカードリモコンおよび別売りのソニー製CD/MDチェンジャーを接続した場合の操作方法についても説明しています。

まず、本機をリセットする

初めて使うときや、自動車のバッテリーを交換したとき、接続を変えたときは、リセットボタンをつま楊枝の先などで押してください。ただし、針のような物で強く押すと故障の原因となります。

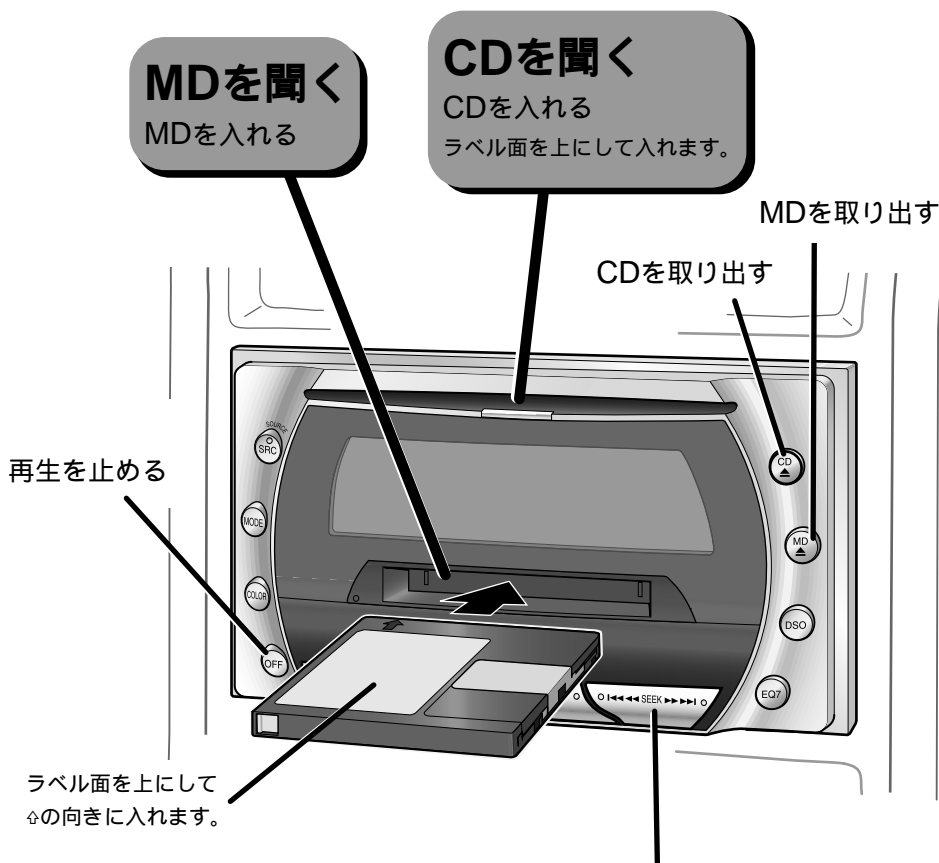
ご注意

- リセットボタンを押すと、時刻などの登録した内容が消えることがあります。その場合は、登録し直してください。
- リセットボタンを押してから約10秒間、本機は初期設定動作を行います。その間にCDまたはMDを入れると正常にリセットされないことがありますので、初期設定動作中はCDまたはMDを入れないでください。
- リセットボタンを押したり、OFFボタンを押すと、自動的にデモンストレーションが表示されます。デモンストレーションを表示したくない場合は、Demo(デモモード)をoffにしてください。(37～38ページ)



リセットボタン


CD/MD・ラジオの聞きかた



ディスクが入っているとき点灯します。

□ : MD Ⓢ : CD

ディスクが入っているときは

 ボタンを押して「CD」または「MD」を選ぶと再生が始まります。

本機は8cmCDがそのまま再生できます。

8cmCDにシングルアダプターをつけて再生すると故障の原因になりますので使用しないでください。

曲の頭出し

再生中にSEEKボタンを押して離す。

▶▶▶▶ : 次の曲へ進む
◀◀◀◀ : 曲の頭や前の曲へ戻す
戻したい曲の数だけ押します。

聞きながら探す(サーチ)

再生中にSEEKボタンを押し続ける。

▶▶▶▶ : 先に進める
◀◀◀◀ : 前に戻す
指を離すと、そこから再生されます。

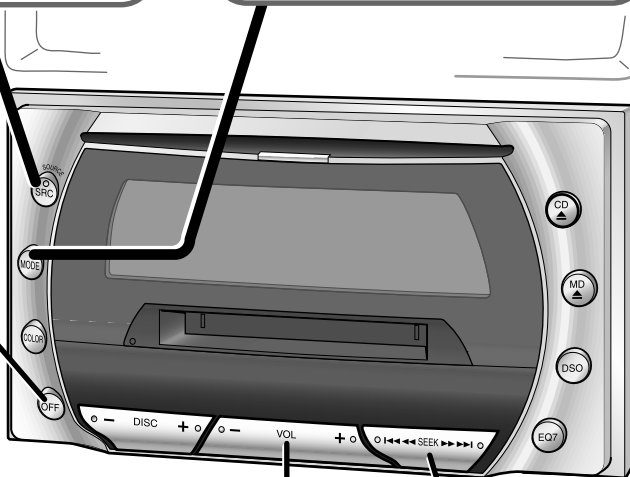
ラジオを聞く

1 ラジオ受信にする

受信を止める

2 聞きたいバンドを選ぶ

押すごとに
FM1 → FM2 → AM1 → AM2 → FM1
と切り換わります。

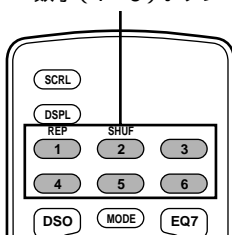


音量を調節する

3 聞きたい放送局を選ぶ

数字ボタンに登録してあるときに
付属のカードリモコンで選ぶこと
ができます。くわしくは26～29
ページをご覧ください。

数字(1～6)ボタン



自動選局で受信する(自動選局)

SEEKボタンを聞きたい放送局を受信するまで繰
り返し短く押します。

▶▶▶▶ : 高い周波数へ

◀◀◀◀ : 低い周波数へ

希望の放送局を受信する(手動選局)

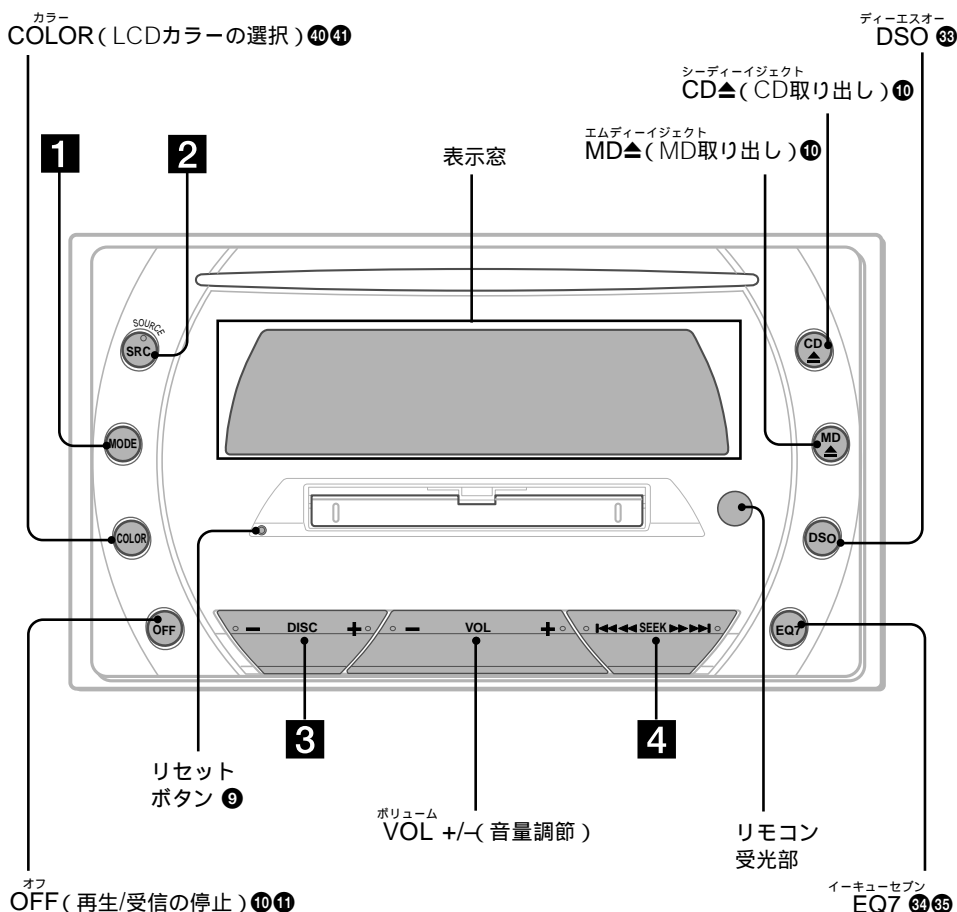
SEEKボタンを押し続け、聞きたい放送局の周波
数に近付いたところで、一度指を離します。さ
らに繰り返し短く押していくと0.1MHz(または
9kHz)ごとに送れます。

▶▶▶▶ : 高い周波数の放送局を探す

◀◀◀◀ : 低い周波数の放送局を探す

各部のなまえ

くわしい説明は●内のページをご覧ください。

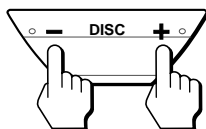


ACCボジションのないお車のときは、OFFボタンを2秒以上押し続けて時計表示を消してください。OFFボタンを短く押しただけでは時計表示が消えず、バッテリーあがりの原因となります。

1 モード

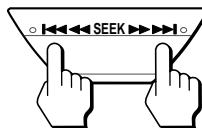
ラジオ FM1/FM2/AM1/AM2の
切り換え 11 26 29

CD/MD*¹ CD/MD機器の選択 17 18

2 ソース
SOURCE (ラジオ/CD/MD(MS*²)切り
換え) 10 11 17 18 26 29**3** ディスク
DISC -/+ (プリセットサーチ/ディスク
選択/アルバム選択)

ラジオ 登録した局の選局 26

CD/MD*¹ ディスクの選択*³ 18
(短く押す)
アルバムの選択*⁴ 18
(長めに押す)

4 シーク/エーエムエス
SEEK/AMS (ラジオ選局/頭出し)

ラジオ 周波数の低い 周波数の高い
放送局へ 放送局へ
(押し続ける) (押し続ける)
11 27 29 11 27 29

CD/MD 前の曲へ 次の曲へ
早戻し 早送り
(押し続ける) (押し続ける)
10 18 10 18

*¹ 別売りのCD/MD機器(ソニー製)が接続されて
いるとき

*² MS: MG-MSシステムアッププレーヤー
MGS-X1(別売り)
本機はMGS-X1をMDとして認識します。

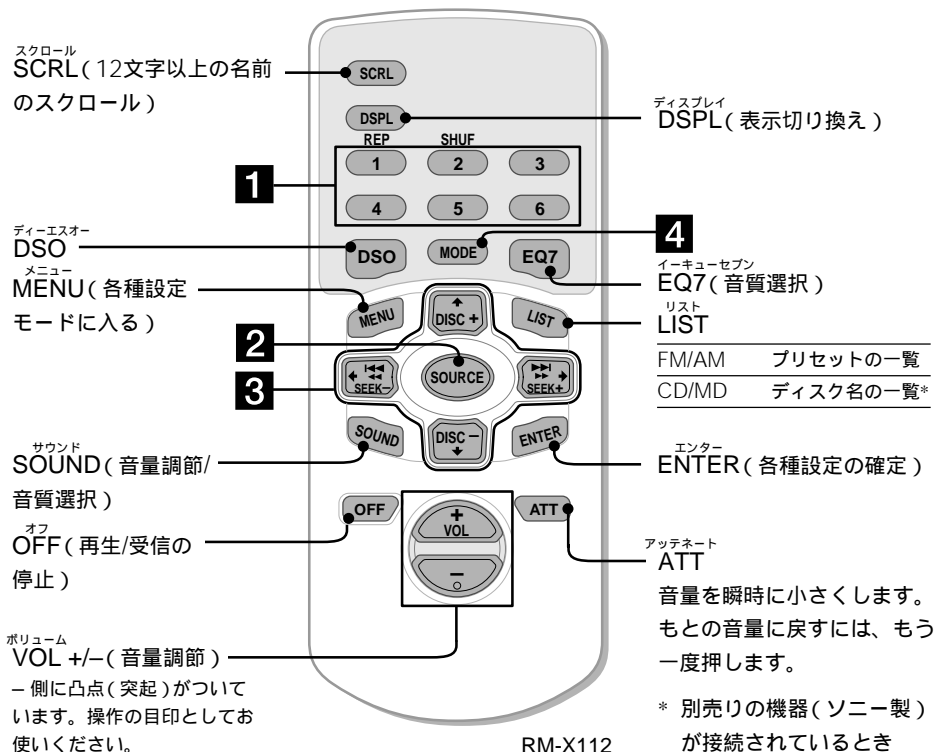
*³ 別売りのCD/MDチェンジャー(ソニー製)が接
続されているとき

*⁴ 別売りのMP3対応CDチェンジャー(ソニー製)
が接続されているとき

カードリモコンの操作

各種メニュー設定を行う操作は、カードリモコンで行います。

安全のため、カードリモコンの操作は運転者以外の同乗者が行うか、車を安全な所に止めてから行ってください。



ご注意

OFFボタンを2秒以上押し続けて時計表示を消してある場合は、カードリモコンで本機を操作できません。操作できるようにするためには、まず本体のSOURCEボタンを押すか、ディスクを挿入して本機の電源を入れてください。

ちょっと一言

リチウム電池の交換のしかたについては「使用上のご注意」(42ページ)をご覧ください。

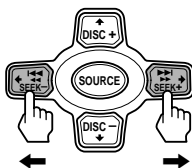
1 数字(1~6)ボタン

ラジオ 放送局の登録/選択
20 29

CD/MD 1: REPボタン 21
2: SHUFボタン 22

2 SOURCE (ラジオ/CD/MD(MS*)切り換え) 10 11 17 18 26 29

3 カーソル←/→ (SEEK/AMS) シーク/エーエムエス (ラジオ選局/頭出し/設定項目選択)



ラジオ 周波数の低い 周波数の高い
放送局へ 放送局へ
(押し続ける) (押し続ける)
27 29 27 29

CD/MD 前の曲へ 次の曲へ
(短く押す) (短く押す)
早戻し 早送り
(押し続ける) (押し続ける)
18 18

イコライザー 前へ 次へ
プリセット 34 35 34 35
設定

バス 小さく 36 大きく 36

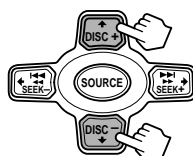
トレブル 小さく 36 大きく 36

バランス 左へ 36 右へ 36

フェーダー 後ろへ 36 前へ 36

カーソル↑/↓ (DISC/PRESET) ディスク/プリセット
(プリセットサーチ/ディスク選択/アルバム選択/メニュー項目選択)

↑ (次へ進む)



↓ (前へ戻る)

ラジオ 登録した局の選局 26 32

CD/MD*2 ディスクの選択*3 18
(短く押す)
アルバムの選択*4 18
(長めに押す)

時刻の設定 進む(+) 16 戻る(-) 16

イコライザー 大きく(+) 小さく(-)
レベル調整 35 35

メニュー項目選択時に2秒以上押し続けると、メニュー項目のカテゴリーをスキップすることができます。

4 モード MODE

ラジオ FM1/FM2/AM1/AM2
切り換え 26 29

CD/MD*2 CD/MD機器選択 17 18

*1 MS : MG-MSシステムアッププレーヤー
MGS-X1 (別売り)

本機はMGS-X1をMDとして認識します。

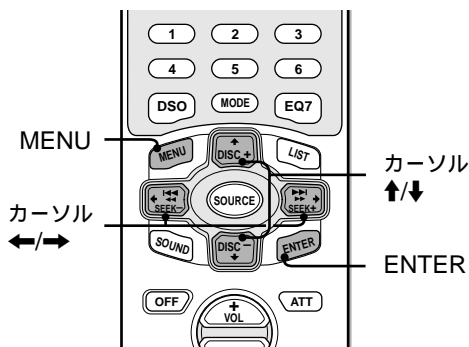
*2 別売りのCD/MD機器(ソニー製)が接続されているとき

*3 別売りのCD/MDチェンジャー(ソニー製)が接続されているとき

*4 別売りのMP3対応CDチェンジャー(ソニー製)が接続されているとき

時計を合わせる

本機は12時間表示です。



ご注意

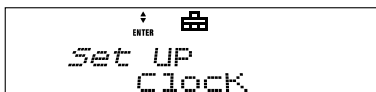
ACCボジションのないお車のときは、SOURCEボタンを押すかディスクを挿入して本機の電源を入れてから、時計を設定してください。

ちょっと一言

D.Info機能を「on」に設定すると、再生中や受信中は常時時計が表示されます（37～38ページ）。

1 MENUボタンを押す。

2 カーソルボタンの↑または↓を押して「Clock」を選ぶ。



3 ENTERボタンを押す。



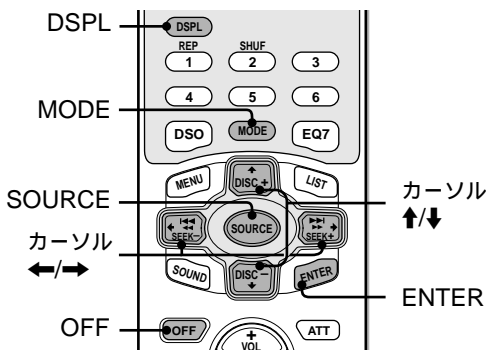
- ① ↑または↓を押して「時」を合わせます。
- ② →を押して「分」の位置に移動し、↑または↓を押して「分」を合わせます。
↑を押すと数値が進み、↓を押すと数値が戻ります。

4 設定後、ENTERボタンを押す。

設定時刻が登録され、通常画面に戻ります。

CD/MDを聞く

本機の他に別売りのソニー製MP3対応CD機器またはMD機器を接続して、CD、MP3ファイル、MDを再生できます。本機またはCD TEXT対応のCD機器にてCD TEXTディスクを再生中に、その文字情報(アルバム名、アーティスト名、曲名など)を表示することができます。



CD TEXTとは

アルバム名、アーティスト名、曲名などの文字情報を記録した音楽CDの呼称です。

*1 別売りのソニー製CD/MD機器が接続されている場合のみ表示します。

*2 MP3再生時のみ表示します。

*3 CD TEXT、MP3、MD再生時のみ表示します。

*4 別売りのソニー製CD/MDチェンジャーが接続されていて、チェンジャー内のディスクを再生中の場合のみ表示します。

ご注意

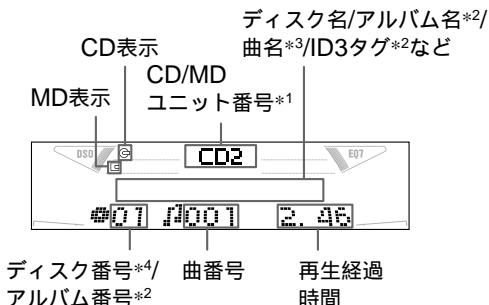
MDLP録音したMDを再生するときは、ソニー製MDLP対応機器をお使いください。MDLP未対応のMDチェンジャーなどで再生することはできません。

ちょっと一言

ディスクの最後まで再生すると、最初の曲に戻ります。別売りのCD/MD機器を接続している場合は、同じソースのCD/MD機器内の次のディスクを再生しません。

聞きたい機器を選ぶ

- 1 SOURCEボタンを繰り返し押して、「CD」または「MD」を選ぶ。



- 2 MODEボタンを繰り返し押して、聞きたいCD/MD機器(本機または別売りのソニー製CD/MD機器)を選ぶ。

CDの場合

CD1(本機) → CD2(CD機器1)*1 →
CD3(CD機器2)*1 → ... → CD1 →

MDの場合

MD1(本機) → MD2(MD機器1)*1 →
MD3(MD機器2)*1 → ... → MD1 →

再生をやめるには

別のソースに切り換えるか、OFFボタンを押します。

次のページへつづく

CD/MDを聞く(つづき)

MP3再生時のご注意

- 本機で直接MP3ファイルの再生はできません。別売りのソニー製MP3対応CDチェンジャーをご使用ください。
- MP3対応CDチェンジャーはMP3再生時、初めにディスク内の情報(アルバム、トラック数など)を読み取るため、ファイル構造が複雑な場合、再生が始まるまでに時間がかかることがあります。読み取り中は本機の表示窓に「Read」と表示されますので、完全に表示が消え、自動で再生が始まるまでお待ちください。

CD/MDチェンジャー内の聞きたいディスクを選ぶには

CD/MDチェンジャー内のディスクを再生中に↑または↓を押す。

押すたびに、次のディスクまたは前のディスクに1枚ずつ切り換わります。

MP3対応CDチェンジャー内の聞きたいアルバムを選ぶには

聞きたいアルバムの入ったディスクを再生中に↑または↓を長めに押す。

押すたびに、次のアルバムまたは前のアルバムに1つつ切り換わります。

聞きたい曲を選ぶには

再生中に←または→を押す。

押すたびに、次の曲または前の曲に1曲ずつ切り換わります。

曲の聞きたいところにするには

再生中に←または→を押し続けて、聞きたいところで離す。

ディスクの先頭または終わりに来ると

「.....」または「.....」が表示され、それ以上前または先に進めることはできません。

MG-MSシステムアッププレーヤー MGS-X1(別売り)を再生するには

- 1 SOURCEボタンを押して「MD^{*1}」を選ぶ。
- 2 MODEボタンを押して「MS」を選ぶ。

MGS-X1をソースセクタ-(別売り)の入力端子に接続した場合^{*2}

MD1(本機)→MS(MGS-X1)→
MD3(MD機器3)^{*3}→...→MD1→

^{*1} 本機はMGS-X1を「MD」として認識します。

^{*2} MGS-X1をソースセクタ-(別売り)のどの入力端子に接続しても「MD2」として認識します。

^{*3} 別売りのソニー製MD機器が接続されている場合のみ表示します。

ちょっと一言

- 本機ではCD TEXTやMP3ファイル、MDに記録されているディスク/アーティスト名や曲名などはアルファベットと数字、記号、カタカナのみ表示できます。
- 漢字、ひらがなのみ入力されたMDを再生した場合は「NO Disc Name」または「NO Track Name」と表示されます。
- 本機で表示できない文字や記号は「*」に置き換わります。
- CD TEXTに記録されていても、曲ごとのアーティスト名は表示されません。
- 「オートスクロールの設定」(20ページ)で「A.Scroll-on」にしておくと、ディスクや曲が変わったときに自動的にスクロール表示させることができます。
- MP3ファイルのID3タグは「曲名/アーティスト名/アルバム名」の順に表示します。

ご注意

- CDチェンジャー内のCDの曲名を表示することができるのはMP3対応機器でMP3ファイル再生時、またはCD TEXT対応機種でCD TEXTディスク再生時のみです。
- CD TEXTまたはID3タグで極端に文字数が多く入っている場合、すべての文字を表示しなかったりスクロールしないことがあります。

表示窓の見かた

再生中にDSPLボタンを繰り返し押し押して表示を切り換えます。
長い名前は自動的にスクロールします。

CD TEXT(点線枠内:MP3)ディスクの再生の場合



ディスク名/
アーティスト名*1*2、
ディスク番号、曲番
号、再生経過時間



アルバム名*3(MP3
のみ) アルバム番
号、曲番号、
再生経過時間



曲名*4(CD TEXT、
MP3、MDのみ)
ディスク/アルバム番
号、曲番号、
再生経過時間



ID3タグ*5(MP3の
み) アルバム番号、
曲番号、
再生経過時間

*1 ディスク名がついていないときは「NO Disc Name」と表示されます。

*2 CD TEXTにディスクメモ機能(23ページ)で名前をつけてあるときは、ディスクメモの名前を表示します。

*3 アルバム名がついていないときは「NO Album Name」と表示されます。

*4 曲名がついていないときは「NO Track Name」と表示されます。

*5 MP3にID3タグがついていないときは「NO ID3 Tag」と表示されます。

次のページへつづく

CD/MDを聞く(つづき)

ご注意

スクロールするのは、
DSPLボタンで選んだ名前の
のみです。

MDLP表示について

録音モードにより、MD再生時の表示が換わります。

LP2 : LP2ステレオ再生時

LP4 : LP4ステレオ再生時



長い名前(12文字以上)を見るには

CD TEXT、MP3またはMDの再生中に、SCRLボタンを押します。

オートスクロールの設定

CD TEXT対応CD、MP3またはMDを再生している場合は、ディスクまたは曲が切り換わったとき、SOURCEをCDまたはMDにしたときに、この設定を「on」にしておくと12文字以上の名前を自動的にスクロール表示させることができます。

1 CDまたはMDの再生中にMENUボタンを押す。

2 ↑または↓を押して「A.Scroll」を表示させる。



3 →を押して「A.Scroll-on」を選ぶ。

4 ENTERボタンを押す。

通常の画面が表示されます。

オートスクロールを解除するには

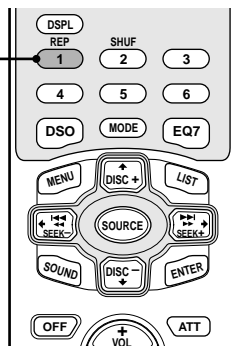
手順3で「A.Scroll-off」を選びます。

繰り返し聞く

(リピート再生)

再生中の曲のみ、アルバム内の全曲またはディスク内の全曲を繰り返し聞くことができます。

数字ボタン1
(REP)

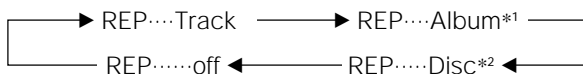


ご注意

「REP…Album」を設定後、ディスクを切り換えると、「REP…Album」は解除されます。

CDまたはMDを再生中に、数字ボタン1 (REP) を繰り返し押し、再生モードを選ぶ。

押すごとに、表示は次のように切り換わります。



- 1曲のみ繰り返し再生 「REP…Track」にする。
- 再生しているアルバムを繰り返し再生 「REP…Album」*1にする。
- 再生しているディスクを繰り返し再生 「REP…Disc」*2にする。

*1 ソニー製MP3対応CDチェンジャーでMP3ファイル再生時のみ表示されます。

*2 ソニー製CD/MDチェンジャー接続時のみ表示されます。

リピート再生をやめるには

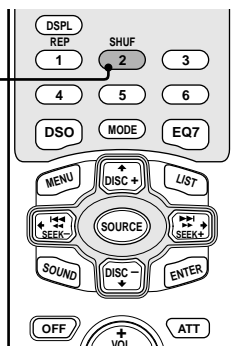
数字ボタン1 (REP) を繰り返し押し、「REP…off」を選びます。

曲順を変えて 聞く

(シャッフル再生)

再生中のアルバム内の全曲、ディスク内の全曲、またはチェンジャー内の全ディスクの曲順を変えて聞くことができます。

数字ボタン2
(SHUF)



ご注意

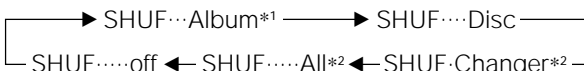
- 「SHUF……All」でCDとMDを混ぜてシャッフル再生することはできません。
- 「SHUF……Album」を設定後ディスクを切り換えると、「SHUF……Album」は解除されます。

ちょっと一言

「SHUF・Changer」
「SHUF……All」では、同じ曲が2度以上再生されることがあります。

CDまたはMDを再生中に、数字ボタン2 (SHUF) を繰り返し押して、再生モードを選ぶ。

押すごとに、表示は次のように切り換わります。



- 再生しているアルバム内の全曲を順不同に再生するには
……………「SHUF…Album」*1にする。
- 再生しているディスクの全曲を順不同に再生するには
……………「SHUF…Disc」にする。
- 再生しているチェンジャー内の全ディスクを順不同に再生するには
……………「SHUF・Changer」*2にする。
- 再生しているソース (CDまたはMD) のすべての機器の全ディスクを順不同に再生するには
……………「SHUF……All」*2にする。

*1 ソニー製MP3対応CDチェンジャーでMP3ファイル再生時のみ表示されます。

*2 ソニー製CD/MDチェンジャー接続時のみ表示されます。

シャッフル再生をやめるには

数字ボタン2 (SHUF) を繰り返し押して「SHUF……off」を選びます。

ディスクに名前をつける

(カスタムファイル - ディスクメモ)

カスタムファイルとは？

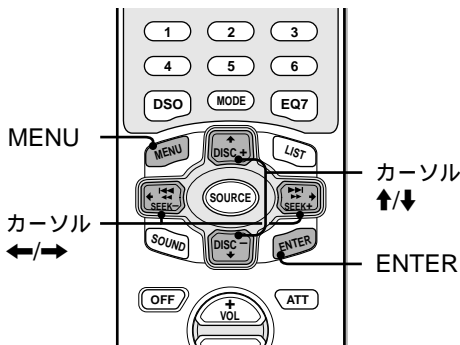
CDソフトのタイトル名を登録・表示する機能です。別売りのカスタムファイル対応のCDチェンジャー(ソニー製)を接続すると、CDに8文字までの名前をつけられ、ディスクメモ、リスト機能を楽しむことができます。

ご注意

- CDの名前は、カスタムファイル対応のCDチェンジャーに登録されます。カスタムファイル非対応のCDチェンジャーを接続した場合、ディスクメモ、リスト機能を操作することはできません。
- ディスクメモ入力中は自動的にディスクリートになります。その間、「REP...Track」やシャッフル再生は保留されます。

ちょっと一言

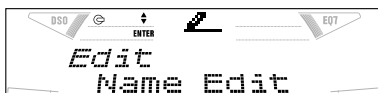
- ↑を押すごとに
A → B → ... Z →
0 → 1 → ... 9 → + → -
→ * → / → \ → →
→ . → : (スペース)
→ A
と換わります。↓を押すと、逆順に表示されます。
- アルファベットの小文字とカナは使用できません。
- 文字入力を間違えたときは、←を押して修正したい文字を点滅させ、正しい文字を入れ直します。
- 手順2、3、4の代わりにLISTボタンを2秒以上押し続けてもディスクメモ入力モードになります。



1 名前をつけたいCDを再生する。

2 MENUボタンを押す。

3 ↑または↓を繰り返し押して、「Name Edit」を選ぶ。



4 ENTERボタンを押す。



5 ↑または↓を押して入力する文字を選び、→を押して次の文字に移動させる。



スペースを入れたいときは、続けて→を押します。

6 手順5を繰り返して、名前を入力し終わったらENTERボタンを押す。

通常の画面が表示されます。


次のページへつづく

ディスクに名前をつける(つづき)

ご注意

- 名前の消去は、名前が登録されているCDチェンジャーでCDを再生しないできません。
- 消したい名前が見つからないときは、他のCDチェンジャーでCDを再生してください。

ちょっと一言

- 「ディスクに名前をつける」(23ページ)の手順5で、すべての文字に「

名前を消去するには

1 カスタムファイル対応のCDチェンジャーでCDを再生中にMENUボタンを押す。

2 ↑または↓を繰り返し押して、「Name Delete」を選ぶ。



3 ENTERボタンを押す。

4 ↑または↓を繰り返し押して、消去するディスクの名前を選ぶ。



5 ENTERボタンを2秒以上押し続ける。

選択したディスクの名前が消去されます。

ほかのディスクの名前を消すときは手順4、5を繰り返します。

6 MENUボタンを2回押す。

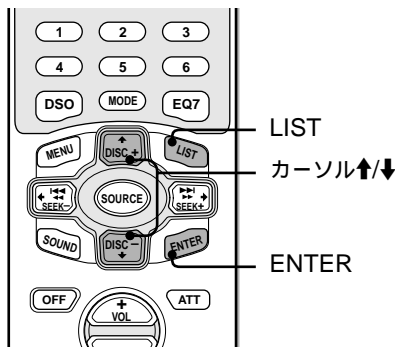
通常の画面が表示されます。

ディスクを名前 で探す (リスト)

次の場合に名前を見ながら好きなディスクを選ぶことができます。

- 別売りのCD TEXT対応ソニー製CDチェンジャーでCD TEXTディスクを再生する場合
- 別売りのカスタムファイル対応ソニー製CDチェンジャーでCDを再生する場合*
- 別売りのMP3対応ソニー製CDチェンジャーでMP3ファイルを再生する場合*
- 別売りのソニー製MDチェンジャーでディスク名の記録されているMDを再生する場合

* ディスクメモ機能(23ページ)で名前をつけてからこの機能をお使いください。



ご注意

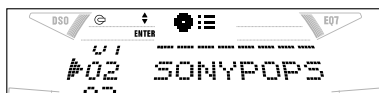
- ディスク名のリスト画面には、次の表示が出ることがあります。
 - 「-----」: ディスクが入っていない。
 - 「.....」:
 - 名前をつけていない。
 - CD TEXT対応の機器でCD TEXTでないCDを再生したとき。
 - 「?」: ディスク情報をまだ読み込んでいない。
- CD TEXTで極端に文字数が多く入っている場合、すべての文字を表示しないことがあります。

ちょっと一言

- 選択をキャンセルするには手順3の前にLISTボタンを押します。
- 現在再生中のディスク名の左側に「▶」が、再生していないディスク名の左側に「▷」が表示されます。

1 CD/MDチェンジャー内のディスクを再生中にLISTボタンを押す。

ディスク名のリストが表示されます。



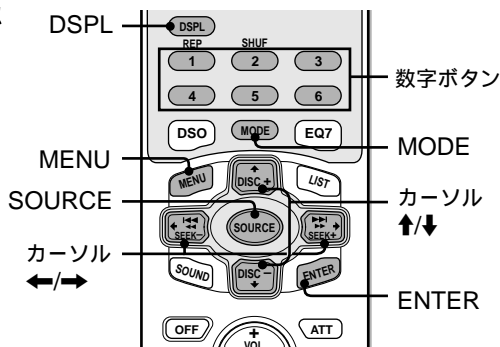
2 ↑または↓を繰り返し押して、聞きたいディスク名を表示させる。

3 ENTERボタンを押す。

再生が始まります。

放送局を自動で登録する

受信状態のよい放送局を自動的に登録することができます。「FM1」、「FM2」、「AM1」、「AM2」のそれぞれに6局ずつ、合わせてFM、AM各12局ずつ登録できます。



ちょっと一言

手順2でMODEボタンを押すごとに
FM1 → FM2 → AM1 →
AM2 → FM1
と切り換わります。

ご注意

- 放送局の数が少ない場合や電波が弱いときは、登録されないことがあります。
- 表示窓に登録番号が表示されていたときは、それ以降の登録番号に登録されません。

受信状態の良い放送局を設定する

- 1 SOURCEボタンを押してラジオ受信にする。
- 2 MODEボタンを押して登録したい放送局のバンドに切り換える。
- 3 MENUボタンを押す。
- 4 ↑または↓を繰り返し押して、「BTM」を選ぶ。



- 5 ENTERボタンを押す。

「BTM」(ベストチューニングメモリー)が一瞬表示され、選んだバンドの中で受信状態の良い放送局が周波数の順に登録されます。

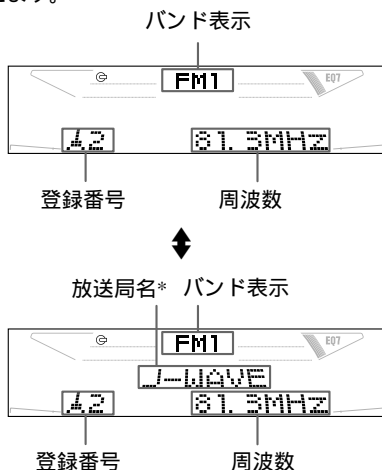
登録が終わると通常の表示に戻ります。

登録した放送局を聞くには

ラジオ受信中にMODEボタンを押してバンドを選び、数字ボタン、↑または↓を押して聞きたい放送局を選ぶ。

表示窓の見かた

ラジオ受信中にDSPLボタンを繰り返し押して、表示を切り換えます。



* 名前がついていないときは、「NO Name」と表示されます。
 名前の登録のしかたについては、30ページをご覧ください。

旅先などで、登録した放送局が受信できないときは

ちょっと一言

- ◀または▶を押し続けて聞きたい放送局の周波数に近付いたところで、一度指を離します。さらに繰り返し短く押していくと0.1MHz(または9kHz)ごとに送れます。
- ローカル受信中は、放送局を探している間「Local Seek」と表示されます。

ラジオ受信中に◀または▶を押して離します。

自動的に放送局を探し始め、受信すると止まります。聞きたい放送局が受信できるまで繰り返します。

- 聞きたい放送局がわかっているときは、その放送局の周波数になるまで◀または▶を押し続けます。
- 自動選局がたびたび止まってしまうときは、ローカル受信にすると、比較的電波の強い放送局だけを受信します。
 - 1 ラジオ受信中に、MENUボタンを押す。
 - 2 ↑または↓を繰り返し押して、「Local」を表示させる。
 - 3 ▶を押して「Local.....on」を選び、ENTERボタンを押す。

ふつうの受信に戻すには

手順3で「Local.....off」を選びます。

次のページへつづく

放送局を自動で登録する(つづき)

ちょっと一言

FM放送が聞きにくいときは、DSO設定を「off」にすると聞きやすくなります(33ページ)。

ご注意

IF Autoモードを「Wide」にして雑音が入り聞きにくい場合は、「IF Auto」に戻してください。

ステレオ放送が聞きにくいときは

ステレオ放送が聞きにくいときは、音をモノラルにすると聞きやすくなります。

- 1 FM受信中に、MENUボタンを押す。
- 2 ↑または↓を繰り返し押して、「Mono」を表示させる。
- 3 →を押して「Mono.....on」を選び、ENTERボタンを押す。

ふつうの受信に戻すには

手順3で「Mono.....off」を選びます。

受信周波数帯域幅を自動的に調整する (IF Autoモード)

FM受信中、受信している周波数の近くに他の放送局があると、他の放送局の混信による雑音で放送が聞きにくくなることがあります。この場合「IF Auto」に設定すると、受信する周波数帯域幅を自動的にせばめて放送を聞きやすくします。このためステレオ放送がモノラルになることがあります。このような場合でもIF Autoモードを「Wide」に固定するとステレオで聞くことができます。

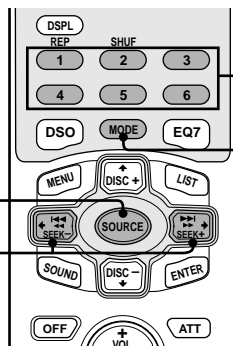
- 1 FM受信中に、MENUボタンを押す。
- 2 ↑または↓を繰り返し押して、「IF.....Auto」を表示させる。
- 3 →を繰り返し押して、「IF.....Wide」を表示させる。
- 4 ENTERボタンを押す。

放送局を手動で登録する

お好みの放送局を手動で登録することができます。

SOURCE

カーソル
←/→



数字ボタン

MODE

ご注意

すでに登録してある番号に同じバンドの他の放送局を登録すると、前の放送局の登録は消えてしまいます。

ちょっと一言

- 手順2でMODEボタンを押すごとに
FM1 → FM2 → AM1 → AM2 → FM1
と切り換わります。
- ←または→を押し続けて聞きたい放送局の周波数に近付いたところで、一度指を離します。さらに繰り返し短く押していくと0.1MHz(または9kHz)ごとに送れます。
- 「FM1」、「FM2」、「AM1」および「AM2」のそれぞれに6局ずつ、合わせてFM、AM各12局ずつ設定できます。

ラ
ジ
オ

1 SOURCEボタンを押してラジオ受信にする。

2 MODEボタンを押して登録したい放送局のバンドに切り換える。

3 A 聞きたい放送局の周波数がわかっているとき
その放送局の周波数になるまで、←または→を押し続ける。

B 聞きたい放送局の周波数がわからないとき
←または→を押して離す。

自動的に放送局を探し始め、受信すると止まります。聞きたい放送局が受信できるまで繰り返します。



4 登録したい数字ボタンを「MEM」が表示されるまで2秒以上押し続ける。

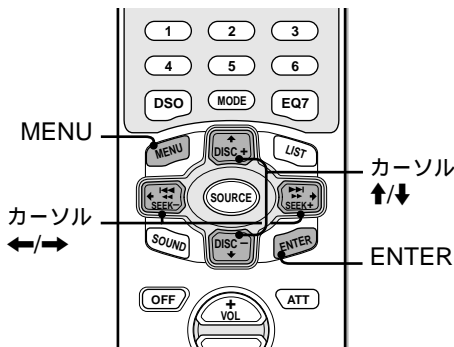


押した数字ボタンの番号が表示され、そのボタンに選んだ放送局が登録されます。

放送局に名前をつける

(ステーションメモ)

放送局に名前をつけると、受信中にその名前を表示することができます。最大62の放送局に、それぞれ8文字までの名前をつけられます。



ちょっと一言

- **↑**を押すごとに
A → B → ...Z →
0 → 1 → ...9 → + → -
→ * → / → \ → →
→ . → _ (スペース) →
A
と換わります。**↓**を押すと
逆順に表示されます。
- アルファベットの小文字と
カナは使用できません。
- 文字入力を間違えたときは
←を押して修正したい文字
を点滅させ、正しい文字を
入れ直します。
- 手順2、3、4の代わりに
LISTボタンを2秒以上押し
続けてもステーションメモ
入力モードになります。

1 名前をつけたい放送局を受信する。

2 MENUボタンを押す。

3 **↑**または**↓**を繰り返し押し、「Name Edit」を選ぶ。



4 ENTERボタンを押す。

5 **↑**または**↓**を繰り返し押し、入力する文字を選び、**→**を押して次の文字に移動させる。



スペースを入れたいときは、続けて**→**を押します。

6 手順5を繰り返して、名前を入力し終わったら
ENTERボタンを押す。

通常の画面が表示されます。

ちょっと一言

- 「放送局に名前をつける」
(30ページ)の手順5で、すべての文字に「 」(下線)を入力して名前を消すこともできます。
- 放送局名がすべて消去された場合は、手順3、5で「NO Data」と表示された後、通常の画面に戻ります。

放送局の名前を消去する

1 ラジオ受信中にMENUボタンを押す。

2 ↑または↓を繰り返し押して、「Name Delete」を選ぶ。



3 ENTERボタンを押す。

4 ↑または↓を繰り返し押して、消去する放送局名を選ぶ。



5 ENTERボタンを2秒以上押し続ける。

選択した放送局名が消去されます。

その他の放送局名を消去するには、手順4～5を繰り返します。

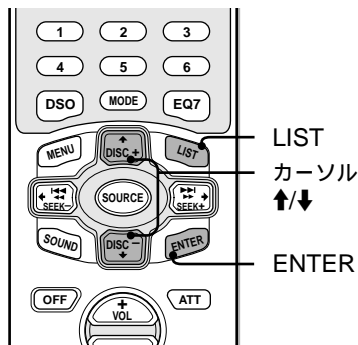
6 MENUボタンを2回押す。

通常の画面が表示されます。

放送局を名前で 探す

(リスト)

放送局に名前をつけておくと、名前を見ながら放送局を探すことができます。放送局に名前をつけるときは、30ページをご覧ください。



ちょっと一言

- 選択をキャンセルするには手順3の前にLISTボタンを押します。
- 現在受信中の放送局名の左側に「▶」が、受信していない放送局の左側に「▷」が表示されます。

1 ラジオ受信中にLISTボタンを押す。

プリセット局のリストが表示されます。



2 ↑または↓を繰り返し押しして、放送局を選ぶ。

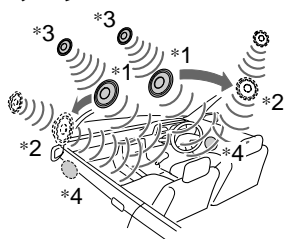
3 ENTERボタンを押す。

選局が終了すると通常の画面が表示されます。

DSOを設定する

スピーカーがドアの下部に設定されている場合は音が足元からこもって聞こえてきたり、左右の音が干渉して濁りがちです。そこでDSO(ダイナミック・サウンドステージ・オーガナイザー)機能により、あたかもダッシュボード上にスピーカー(バーチャルスピーカー)があるかのようにサウンドが鳴り響いてくる音場感を楽しめます。

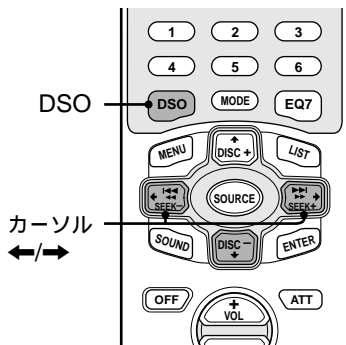
バーチャルスピーカーのイメージ



- *1 DSO.....1
- *2 DSO.....2
- *3 DSO.....3
- *4 DSO.....off (実際のスピーカー(フロントドア下))

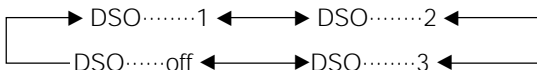
ちょっと一言

- FM放送が聞きにくいときは、DSO設定を「off」にすると聞きやすくなります。
- 車種やお聞きの曲により、DSOの効果がわかりにくい場合があります。
- DSOの設定は各ソースごとに自動的に記憶されます。
- 手順3で3秒以上操作をしないと、通常の画面に戻ります。
- 本体で操作をする時は、本体のDSOボタンを繰り返し押して、DSOモードを選びます。



- 1 設定したいソース(CD、MD、ラジオなど)を再生 / 受信する。
- 2 DSOボタンを押して、「DSO」表示にする。
- 3 ←または→(またはDSOボタン)を繰り返し押して、DSOモードを選ぶ。

押すごとに



と切り換わります。



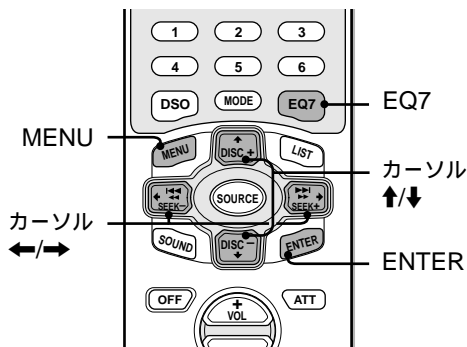
約3秒後に、通常の画面が表示されます。

DSOをやめるには

設定の手順3で「DSO.....off」を選びます。

イコライザーを使う(EQ7)

本機には音楽のジャンルに合わせた7種類のイコライザーカーブが用意されています。また、それらにお好みの変更を加えたイコライザーカーブを登録できます。



ご注意

DSO設定中はDSOの効果を最適化するためにイコライザーの効果を抑えています。

ちょっと一言

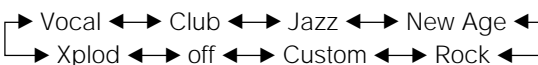
- 手順3で3秒以上操作をしないと、通常の画面に戻ります。
- イコライザーの設定は各ソースごとに自動的に記憶されます。
- 本体で操作をする時は、本体のEQ7ボタンを繰り返し押して、イコライザーカーブを選びます。

イコライザーカーブを選ぶ

- 1 設定したいソース(CD、MD、ラジオなど)を再生 / 受信する。
- 2 EQ7ボタンを押して「EQ7」表示にする。
- 3 ←または→(またはEQ7ボタン)を繰り返し押して、イコライザーカーブを選ぶ。



押すごとに



と切り換わります。

約3秒後に、通常の画面が表示されます。

イコライザーを解除するには
手順3で「off」を選びます。

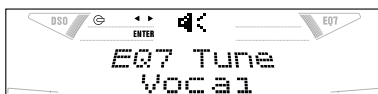
好きなイコライザーカーブを登録する

- 1 設定したいソース(CD、MD、ラジオなど)を再生 / 受信する。
- 2 MENUボタンを押す。
- 3 ↑または↓を繰り返し押して、「EQ7 Tune」を選ぶ。



- 4 ENTERボタンを押す。

- 5 ←または→(またはEQ7ボタン)を繰り返し押して、イコライザーカーブを選ぶ。



- 6 ENTERボタンを押す。

- 7 ←または→を押して周波数を選ぶ。

押すごとに

62Hz ↔ 157Hz ↔ 396Hz ↔ 1.0kHz ↔
2.5kHz ↔ 6.3kHz ↔ 16kHz

と切り換わります。

- 8 ↑または↓を押して、レベルを調整する。

手順7と8を繰り返し、イコライザーカーブを調節します。

- 9 ENTERボタンを押す。

各プリセットを初期設定(工場出荷状態)にするには設定の手順7または8でENTERボタンを2秒以上押し続けます。

ご注意

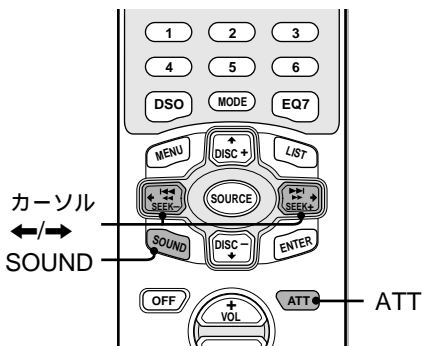
「off」では、イコライザーカーブの調節はできません。

ちょっと一言

レベルの調整可能範囲は±10dBです。

音のバランスや音質を設定する

(バス)(トレブル)(バランス)
(フェーダー)(ATT)



ちょっと一言

- SOUNDボタンを押すごとに
BAS → TRE → BAL →
FAD → 通常画面 → BAS
と切り換わります。
- 手順3で3秒以上操作をしないと、通常の画面に戻ります。
- BAS、TRE、BAL、FADはソースごとに設定することはできません。

ちょっと一言

- 本機のナビ用ATT入力端子とソニー製カーナビシステムとを接続していると、カーナビシステムの設定により、音声案内時、自動的にカーステレオの音量が下がります。(ナビATT機能)
- ATT機能が動作中は表示窓上部の「ATT」が点滅します。

出力バランス/音質を調節する

BAS(低音)TRE(高音)の音質の調節、BAL(左右)FAD(前後)のスピーカー出力のバランスを調節することができます。

1 ソース(CD、MD、ラジオなど)を再生/受信する。

2 SOUNDボタンを繰り返し押して、「BAS」「TRE」「BAL」または「FAD」を選ぶ。



バス(BAS)の設定表示

3 ←または→を押して設定を調節する。

約3秒後に、通常の画面が表示されます。

音量を瞬時に小さくする

ATTボタンを押す。

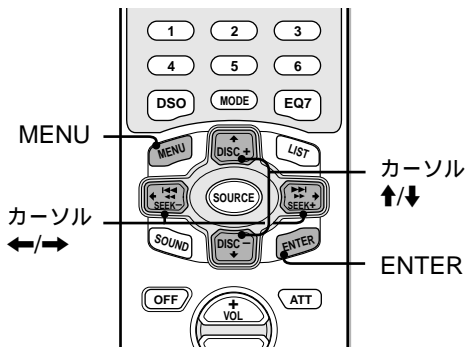
「ATT……on」と表示され、自動的に音量を下げます。

もとの音量に戻すには、ATTボタンをもう一度押します。
「ATT……off」と表示され、もとの音量に戻ります。

ソースごとに音響効果を記憶する

本機ではソース(FM、AM、CD、MD)ごとにDSOやイコライザーの設定を自動的に記憶しています(ソースサウンドメモリー)。それぞれのソースに合わせた最適な音質で再生することができます。

音や表示などの 設定を換える



ちょっと一言

- ↑または↓を2秒以上押すと、メニュー項目のカテゴリ-*5がスキップします。

*5 Set up: 一般設定
Display: 表示の設定
Play Mode: 再生 / 受信の設定
Sound: 音質 / 音響の設定
Edit: 表示文字の設定

- 選べるメニュー項目はソースによって変わります。

設定の種類 設定内容

「Clock」 時計の設定 (16ページ)

「Beep」*1 操作ボタンを押したときの「ピッ」という音をon/offする。

「D.Info」*2 再生/受信中に常に時計を表示させる。

「Demo」*3 再生/受信の停止中にデモを表示する。

「A.Scroll」*4 CD TEXT対応のディスクまたはMD再生時、表示を自動的にスクロールさせる (20ページ)

「Loudness」*2 音のバランスを補正して、小音量でも低音と高音を聞きやすくする。

「Dimmer」 表示窓の減光を設定する。

「Auto」 → 車の照明をONにすると表示が減光する。
(車の照明電源に接続されている場合のみ)

「on」 → 車の照明に関係なく表示が減光する。

「off」 → 車の照明に関係なく表示が減光しない。

「Contrast」 画面のコントラストを調整する (全11段階)

*1 内蔵アンプを使用せず、別売りのアンプを使用した場合は「ピッ」という音は出ません。

*2 ソースを再生/受信中の場合のみ、表示します。

*3 ソースの再生/受信を停止中の場合のみ、表示します。

*4 CDまたはMDを再生中の場合のみ表示します。

次のページへつづく

その他の操作

音や表示などの設定を換える(つづき)

ちょっと一言

- メニュー設定中に、選択可能なカーソルボタンを示す▲が表示窓上部に表示されます。
- 設定項目を選択した後、ENTERボタンを押す必要があるとき、表示窓上部に「ENTER」が点灯します。
- 選んだ項目を変更しないで、もとの画面に戻るには、手順3の前にMENUボタンを押します。

設定を換える

1 MENUボタンを押す。

2 ↑または↓を繰り返し押し、設定したい項目を選ぶ。

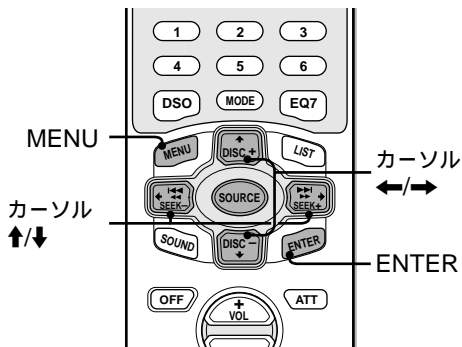
3 ←または→を押して調節したい設定にする。

(例:「on」または「off」)

4 ENTERボタンを押す。

スペクトラムアナライザーを選ぶ(SA)

刻々と変化する音声信号レベルをスペクトラムアナライザーでリアルタイムに表示します。表示パターンは10種類の中から選ぶことができます。



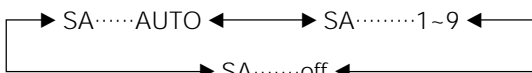
設定を選ぶ

- 1 ソース (CD、MD、ラジオなど) を再生 / 受信する。
- 2 MENUボタンを押す。
- 3 ↑または↓を繰り返し押して、「SA」選ぶ。



- 4 ←または→を繰り返し押して、SAのパターンを選ぶ。

押すごとに



と切り換わります。

- 5 ENTERボタンを押す。

約3秒後に、通常の画面が表示されます。

SA表示をやめるには

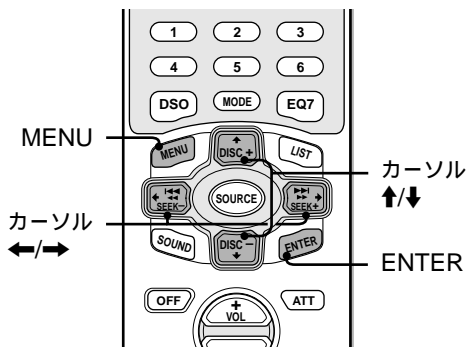
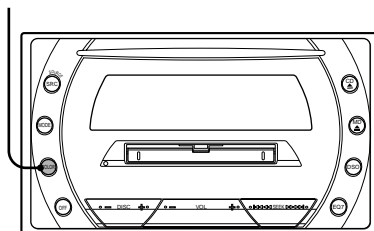
設定の手順4で「SA.....off」を選びます。

その他の操作

LCDカラーを設定する

LCDカラーの色を7種類の中から選ぶことができます。さらにお好みの色に調整し、登録しておくことができます。

COLOR

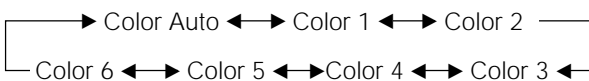


LCDカラーを選ぶ

本体のCOLORボタンを繰り返し押して、LCDカラーを選ぶ。



押すごとに



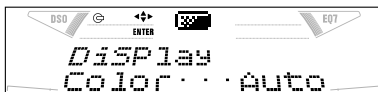
と切り換わり、LCDカラーも変化します。

約3秒後に、通常の画面が表示されます。

LCDカラーの色を調整する

1 MENUボタンを押す。

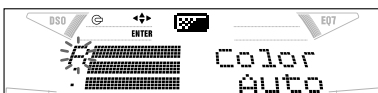
2 ↑または↓を繰り返し押して、「Color」を選ぶ。



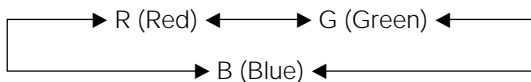
3 ←または→を押して、変更したいLCDカラーを選ぶ。

4 ENTERボタンを押す。

5 ↑または↓を繰り返し押して、調整したい色を選ぶ。



押すごとに



と切り換わります。

6 ←または→を押して、レベルを調整する。

手順5と6を繰り返し、変更したい色にする。

7 ENTERボタンを押す。

各カラープリセットを初期設定(工場出荷状態)にするには

設定の手順5でENTERボタンを2秒以上押し続けます。

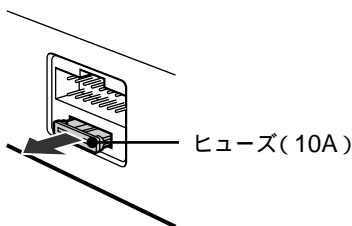
使用上のご注意

本体の表面を傷めないために

本体表面に殺虫剤やヘアスプレーがかかったり、防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品が長時間接触しないようにしてください。本体表面が変質、変形したり、塗装がはげたりすることがあります。

ヒューズについて

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記してある規定容量（アンペア数）のヒューズをお使いください。規定容量以上のヒューズや針金で代用すると故障の原因となるだけでなく大変危険です。



結露について

寒いときにヒーターをつけた直後など、CD/MDプレーヤー内部の光学系のレンズに露（水滴）が生じることがあります。このような現象を結露といいます。

結露したままですと、レーザーによる読み取りができず、CD/MDプレーヤーが動作しないことがあります。

周囲の状況にもよりますが、ディスクを取り出して放置しておけば約1時間ほどで結露が取り除かれ、正常に動作するようになります。もし何時間経過しても正常に動作しない場合はアフターサービスにお申しつけください。

表示窓の結露について

寒いところから暖かいところへ持ち込んだ場合などに、表示窓の内部に露が生じてくることがあります。

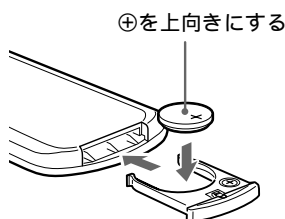
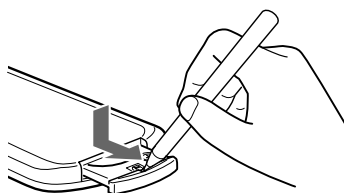
このような場合は、しばらく放置しておくで結露が取り除かれ正常に戻ります。

カードリモコン

電池の入れかた

カードリモコン

リチウム電池CR2025の⊕と⊖を正しく入れてください。



電池の交換時期

電池が消耗するとボタンを押しても操作できないこともあります。普通の使いかたで約1年もちます（使用方法によっては短くなります）。カードリモコンがまったく動作しない場合は電池を交換し、動作を確認してください。

電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記のことを必ずお守りください。

警告

- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- 電池は充電しない。
- 指定された種類の電池を使用する。
- ボタン型電池を誤って飲み込むことのないよう、電池は特に幼児の手の届かないところに置いてください。
- 万一、電池を飲み込んだ場合には、直ちに医師と相談してください。

注意

- + と - の向きを正しく入れる。
- 電池を使い切ったとき、長時間使用しないときは、取り出しておく。

もし電池の液が漏れたときは、電池入れの液をよく拭きとってから、新しい電池を入れてください。万一、液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

カードリモコンについてのご注意

- ダッシュボードの上やハンドルの上など、直射日光の当たるところにカードリモコンを取り付けたり放置しないでください。熱によりカードリモコンが変形するおそれがあります。（特に夏期の直射日光の当たるダッシュボードの上はかなりの高温になりますのでご注意ください。）
- 直射日光の当たるところに駐車するときは、カードリモコンを取り付け場所から外し、グローブボックスの中など直射日光の当たらないところに保管してください。
- 直射日光下ではカードリモコンの信号が受信されにくくなることがあります。このようなときは、フロントパネルの受光部にカードリモコンを近づけて操作してください。

故障かな？

下記の処置を行っても効果がないときは、接続に問題があるか、故障と考えられます。
テクニカルインフォメーションセンター、お買い上げ店またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

症状	原因・処置
共通	音が出ない。
	<ul style="list-style-type: none">• 音量を上げてください。• ATT機能を解除してください。• スピーカー接続時：スピーカー出力の設定が正しくない。 → 2スピーカーで聞くときは、スピーカーバランスをフロント、あるいはリア側にしてください。• 別売りのMDLP未対応のMDチェンジャー（MDX-65など）で長時間録音のMDを再生している。曲名表示に「LP：・・・」と出ている。 → 本機またはソニー製MDLP対応機器で再生してください。• 本機でMP3ファイルを再生している。 → 本機でMP3ファイルの再生はできません。別売りのソニー製MP3対応CDチェンジャーで再生してください。
	メモリーの内容が消えてしまった。
	<ul style="list-style-type: none">• リセットボタンを押した。• バッテリー用電源コードまたはバッテリーを外した。• 電源コードが正しく接続されていない。
	ボタンを押したときの「ピッ」という音が出ない。
	<ul style="list-style-type: none">• 「ピッ」という音が出ない設定になっている。 → Beepの設定を「on」にしてください（37～38ページ）。• 内蔵アンプを使用せず、別売りのアンプを使用した場合は「ピッ」という音は出ません。
	なにも表示されない。
	OFFボタンを2秒以上押し続けて時計表示を消した状態にしている。 → もう一度OFFボタンを2秒以上押し続けて、時計表示を出してください。
	電源が入らない。
	<ul style="list-style-type: none">• 電源コードが正しく接続されていない。• イグニッションキーにACCポジションがない車に取り付けている。 → SOURCEボタンを押すかディスクを挿入して電源を入れてください。

	症状	原因・処置
	勝手に「ATT」表示が点滅して音量が下がる。	<ul style="list-style-type: none"> 本機のナビ用ATT入力コードとソニー製カーナビシステムのATT出力コードが接続されていると、カーナビシステムの設定により、音声案内時、自動的に「ATT」表示が点滅して音量が下がります。 本機のナビ用ATT入力コードの先端部分が車の金属部にショートしている。 →コードの先端部分を絶縁テープ等でショートしないように保護してください。
共通	ノイズが出る。	アンテナコード、バスケープル、RCAピンコードおよび電源コードなどの各コードは、できるだけ離して取り付け、配置してください。
	電源がOFFにならない。	ACCポジションがない車に取り付けている。 →OFFボタンを2秒以上押し続けてください。
	オートアンテナが上がらない。	リレー内蔵のオートアンテナに接続していない。
	ボタンを押しても動作しない。	リセットボタンを押してください。
	「-----」表示が消えない。	「Name Edit」(名前入力)モードに入った。 →カードリモコンのLISTボタンを2秒以上押し続けてください。
CD/MD	ディスクが入らない。 ディスクを入れてもすぐに出てくる。	<ul style="list-style-type: none"> すでに別のディスクが入っている。 ディスクを誤った向きに入れようとしている。 →ラベル面を上にして入れてください。
	音がとぶ。 音が途切れる。 音が割れる。	<ul style="list-style-type: none"> CDが汚れている。 →ディスクをクリーニングしてください。 ディスクが傷ついている。 本機の取り付け角度が30°を越えている。 本機またはチェンジャーが正しく固定されていない。 MDではごくまれに録音機と本機との互換性により音がとぶことがあります。この場合、録音機のメーカー名と機種名をご確認のうえ、お近くのソニーサービス窓口へご相談ください。

次のページへつづく

故障かな?(つづき)

症状	原因・処置
CD-RまたはCD-RWが再生できない。	<ul style="list-style-type: none"> 再生しようとしているCD-RまたはCD-RWがオーディオ用フォーマットになっていない。 ディスクの記録状態などが良くない。
CD/DMD MDが再生できない。	<ul style="list-style-type: none"> 何も録音されていないMDが入っている。 → 録音済みのMDに入れ換えてください。 長時間録音されたMDをMDLP未対応のMDチェンジャー (MDX-65 など) など再生している。 → 本機またはソニー製MDLP対応機器で再生してください。
受信できない。 雑音しか出ない。	<ul style="list-style-type: none"> パワーアンテナコントロールコード (青色) または、アクセサリ電源コード (赤色) を、純正アンテナブースターの電源供給コード (車両側) に接続してください (リアまたは、サイドガラスに内蔵しているプリント線状のFM/AMアンテナの場合のみ)。詳しくは、お買い上げ店にご相談ください。 カーアンテナとの接続を確認してください。 オートアンテナが上がっていない。 → パワーアンテナコントロールリードの接続を確認してください。 周波数を確認してください。 IF機能が「Wide」になっている。 → 「Auto」にしてください (28ページ)。
ラジオ ←または→を押しても聞きたい放送局で止まらない。	<ul style="list-style-type: none"> 「Local……on」に設定している場合は電波の強い周波数のみ受信します。 → 「Local……off」にしてください (27ページ)。 電波が弱くて自動選局できない。 → ←または→を押し続けて周波数を合わせてください。
ステレオ放送が聞きにくい。 「ST」表示が点滅する。	<ul style="list-style-type: none"> 周波数を確認してください。 電波が弱い。 → モノラルモードに設定してください (28ページ)。 DSOの設定を「off」にしてください (33ページ)。
サウンド設定 音がでない、または音が小さい。	<p>バランス (BAL)、フェーダー (FAD) などのスピーカー出力の調節で、特定のスピーカーの音量が小さくなった。 → BAL、FADを調節してください (36ページ)。</p>

CD/MDのエラー表示

CD機器やMD機器が誤動作すると、アラーム音が鳴り、エラー表示が5秒間点滅します。

エラー表示	原因	処置
Blank	MDに何も録音されていない。	ほかのMDに入れ換える。
Error	ディスクが裏返しになっている。	ディスクを正しく入れ直す。
	CDが汚れている。	CDをクリーニングする。
	ディスクが何らかの原因で再生しない。	ほかのディスクに入れ換える。
High Temp	周囲の温度が50°C以上になった。	50°C以下に下がってから再生する。
NO Disc	チェンジャーにディスクが入っていない。	ディスクを入れる。
NO Magazine	CD機器にディスクマガジンが入っていない。	ディスクマガジンにディスクを入れ、CD機器に入れる。
NO Music	MP3対応CD機器に音楽ファイル以外のデータが記録されたディスクが入っている。	音楽データの記録されたディスクを入れる。
Not Ready	MDチェンジャー(MDX-40)のフタが開いている。あるいはディスクが正しく入っていない。	ディスクを正しく入れ直し、フタを閉める。
Push Reset	何らかの原因で動作しない。	本機のリセットボタンを押す。

保証書と アフターサービス

保証書（別に添付）

保証書は、所定事項の記入をお確かめのうえ、お買い上げ店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

保証期間

お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

修理を依頼される前に「故障かな？」の項目に従って、故障かどうかをお調べください。直らないときは、テクニカルインフォメーションセンター、お買い上げ店またはお近くのサービス窓口（別紙）にご相談ください。

保証期間中

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

保証期間を過ぎたら

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間

この製品の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。

部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

主な仕様

CDプレーヤー部

SN比	90dB
周波数特性	10～20,000Hz
ワウフラッター	測定限界以下

MDプレーヤー部

SN比	93dB
周波数特性	10～20,000Hz
ワウフラッター	測定限界以下

チューナー部

FM

受信周波数	76～90MHz (テレビ1～3ch)
中間周波数	10.7MHz
実用感度	8dBf
周波数特性	30～15,000Hz
実効選択度	75dB(400kHz)
SN比	66dB(ステレオ) 74dB(モノラル)
ひずみ率(1kHz)	0.6%(ステレオ) 0.3%(モノラル)
チャンネルセパレーション	35dB以上(1kHz/WIDE時)

AM

受信周波数	522～1,629kHz
中間周波数	10.7MHz/450kHz
実用感度	30μV

グラフィックイコライザー部

中心周波数	63Hz、157Hz、396Hz、 1kHz、2.5kHz、6.3kHz、 16kHz
可変範囲	±10dB

アンプ部

適合インピーダンス	4～8
最大出力	50W×4(4 負荷1kHz)

電源部、その他

電源	DC12Vカーバッテリー (マイナスアース)
出力端子	フロント音声出力端子、 リア音声出力端子、 アンプコントロール、 アンテナコントロール
入力端子	バス音声入力端子、 バスコントロール入力端子、 ATT入力端子(ナビ用)、 アンテナ(FM/AM用)入力端子 (Jaso用)、 イルミコントロール入力端子
本体寸法	約178×100×187mm (幅/高さ/奥行き)
取付寸法	約178×100×165mm (幅/高さ/奥行き)
質量	約2.1kg
付属品	カードリモコン RM-X112(1) (リチウム電池(1)を含む) 取り付け/接続部品(一式) 取扱説明書(一式) ソニーご相談窓口のご案内(1) 保証書(1)

別売品

CDチェンジャー(10枚) CDX-757MXなど
MDチェンジャー(6枚) MDX-66XLPなど
MG-MSシステムアップブレイヤー MGS-X1
パワーアンプ XM-754SX、 XM-1502SXなど
アクティブサブウーファー XS-AW5X XS-AW200X
ソースセクター XA-C30
ワイヤレスロータリーコマンダー RM-X6S
バスケーブル(RCAピンコード 付属) RC-61(1m)、 RC-62(2m)
バス延長コード RC-U305(0.5m)
RCAピンコード RC-64(2m)、 RC-65(5m)
電源コード RC-39

ご注意

本機には別売りのデジタルプリアンプやイコライザーは接続できません。

本機は、「ドルビーラボラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品」です。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

索引

五十音順

ア行

イコライザー	34 ~ 35
エラー表示	47
オートスクロール	20
音量	11、12、14

カ行

カスタムファイル	23 ~ 24
----------	---------

サ行

スクロール	20、37 ~ 38
ステーションメモ	30 ~ 31
シャッフル	22
ステレオ放送	28
ソースサウンドメモリー	36

タ行

ディスクメモ	23 ~ 24
登録	
自動登録	26
ラジオ局	26、29
時計	16

ナ行

名前

消去する	24、31
つける	23、30
表示する	19、25、27、32

ハ、マ、ヤ行

バランス	36
ヒューズ	42
表示窓	
CD/MD	17、19
ラジオ	27
ベストチューニングメモリー	
(BTM)	26
ボタンの音	37 ~ 38

ラ、ワ行

ラジオ	11、26 ~ 32
自動選局	27
登録	26、29
名前で探す	32
名前を消去する	31
名前をつける	30
リスト	25、32
リセット	9
リピート	21
リモコン	
カードリモコン	
	14 ~ 15、42 ~ 43

アルファベット順

A.Scroll	20
ATT	36
BAL	36
BAS	36
Beep	37 ~ 38
BTM	26
CD/MD	10、17 ~ 25
名前で探す	25
名前を消去する	24
名前をつける	23
CD TEXT	17、19
Clock	16
Color	40 ~ 41
Contrast	37 ~ 38
Demo	9、37 ~ 38
Dimmer	37 ~ 38
D.Info	37 ~ 38
DSO	33
EQ7	34
EQ7 Tune	35
FAD	36
IF Auto	28
Loudness	37 ~ 38
Local	27
MDLP (LP2/LP4)	20
Mono	28
Name Delete	24、31
Name Edit	23、30
REP	21
SHUF	22
SA	39
TRE	36

ご案内

ソニーではお客様技術相談窓口として

「テクニカルインフォメーションセンター」

を開設しています。

お使いになってご不明な点、技術的なご質問、故障と思われるときの相談は下記までお問い合わせください。

テクニカルインフォメーションセンター

電話：048-794-5194

受付時間：月～金 9:00～18:00

（祝日、年末年始、弊社休日を除く）

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

- 型名
- 故障状態：できるだけ詳しく
- お買い上げ年月日

ソニー株式会社

〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ

● ナビダイヤル…………… 0570-00-3311

（全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます）

● 携帯電話・PHSでのご利用は…03-5448-3311

● Fax……………0466-31-2595

受付時間：月～金 9:00～20:00、土・日・祝日 9:00～17:00

<http://www.sony.co.jp/>

この説明書は100%古紙再生紙とVOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。



- 主要部のはんだ付けに無鉛はんだを使用しています。
- キャビネットにハロゲン系難燃剤を使用していません。
- 包装材に100%紙系材料のクッションを使用しています。
- 段ボール箱は表層に100%雑誌古紙再生紙とVOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。
この箱は再資源化できます。